

研修・研究・会議費

小計 46,200円

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費

頁小計

1,000 円

備考

領 収 証

NO. 47

1401

おんじょう 由久 様

2023年 5月 16日

¥ 1,000 (税込)

但 町田地域障がい者雇用企業連絡会 勉強会参加費として
上記正に領収いたしました。

町田地域障がい者雇用企業連絡会
事務局

(事務局設置場所)
東京都町田市原町田4-18-6-101
TEL 042-850-9141

※ 領収書は重ねて貼付しない。
※ 領収書が枠からはみ出す場合は別紙に貼る。

町田地域障がい者雇用企業連絡会

2023年

5月16日



14:00

~16:00

勉強会

講師

第1部

保育・教育施設における障がい者雇用

～障がい者雇用を通じた
インクルーシブ社会の実践～

齋藤 祐善氏

学校法人正和学園 理事長

齋藤祐善氏プロフィール



1973年生まれ。保育園副園長、社会福祉法人理事、町田市議会議員などを経て学校法人正和学園理事長に就任。(正和学園創立より82年。4代目)2児(双子)の父。元全国私立保育連盟国際委員、元町田市社会福祉協議会理事など。現在ほかに、社会福祉法人芳美会理事長、一般社団法人東

京都民間保育園協会青年委員、全国認定こども園協会次世代リーダー委員、全国小規模保育協議会東京チャプター長、一般社団法人こどもDX推進協会顧問など。

【セミナー概要】

2023年度障がい者法定雇用率は2.7%（段階的な引き上げのため2023年度は現状維持）となる中で、障がい者雇用について考える保育・教育施設も多いと思います。

なぜ障がい者雇用をはじめたのか、障がい者を雇用するにはどのようにしたらよいか、また保育・教育施設における障がい者の方の働き方や現場の変化について写真等をまじえながら、障がい者の方にも活躍していただける社会について考えます。

会場

町田市民ホール 1階 第3会議室

〒194-0022 東京都町田市森野2-2-36

申込締切日：2023年5月9日(火)

参加定員：30名

参加費：1,000円

お問い合わせ

町田地域障がい者雇用企業連絡会 事務局 藤田

事務局設置場所：株式会社障碍社

〒194-0013 東京都町田市原町田 4-18-6

TEL：042-850-9141 FAX：042-850-9142

MAIL：fujita@shogaisha.co.jp



領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	18,000 円	備考	
-----------	-----	----------	----	--

領 収 証

NO. 36

2401

議員 村松 俊孝 様

2023年 5月 16日

¥ 1,000 (税込)

但 町田地域障がい者雇用企業連絡会 勉強会参加費として
上記正に領収いたしました。

町田地域障がい者雇用企業連絡会
事務局

(事務局設置場所)
東京都町田市原町田4-18-6-101
TEL 042-850-9141

2402 別紙

領 収 証

NO. 39

2403

議員 村松 俊孝 様

2023年 8月 24日

¥ 1,000 (税込)

但 町田地域障がい者雇用企業連絡会 勉強会参加費として
上記正に領収いたしました。

町田地域障がい者雇用企業連絡会
事務局

(事務局設置場所)
東京都町田市原町田4-18-6-101
TEL 042-850-9141

2404 - 2406 別紙

勉強会

町田地域障がい者雇用企業連絡会

2023年

5月16日 火 14:00 ~ 16:00

講師

第1部

保育・教育施設における障がい者雇用

～ 障がい者雇用を通じた
インクルーシブ社会の実践 ～

齋藤 祐善氏

学校法人正和学園 理事長

齋藤祐善氏プロフィール



1973年生まれ。保育園副園長、社会福祉法人理事、町田市議会議員などを経て学校法人正和学園理事長に就任。(正和学園創立より82年。4代目)2児(双子)の父。元全国私立保育連盟国際委員、元町田市社会福祉協議会理事など。現在ほかに、社会福祉法人芳美会理事長、一般社団法人東

京都民間保育園協会青年委員、全国認定こども園協会次世代リーダー委員、全国小規模保育協議会東京チャプター長、一般社団法人こどもDX推進協会顧問など。

【セミナー概要】

2023年度障がい者法定雇用率は2.7%（段階的な引き上げのため2023年度は現状維持）となる中で、障がい者雇用について考える保育・教育施設も多いと思います。

なぜ障がい者雇用をはじめたのか、障がい者を雇用するにはどのようにしたらよいか、また保育・教育施設における障がい者の方の働き方や現場の変化について写真等をまじえながら、障がい者の方にも活躍していただける社会について考えます。

第2部

助成金制度

(含む、直近の障害者雇用促進法改正)

ハローワーク町田 (助成金担当)

申込締切日：2023年5月9日(火)

参加定員：30名

参加費：1,000円

会場

町田市民ホール 1階 第3会議室

〒194-0022 東京都町田市森野2-2-36

お問い合わせ

町田地域障がい者雇用企業連絡会 事務局 藤田

事務局設置場所：株式会社障害社

〒194-0013 東京都町田市原町田4-18-6

TEL：042-850-9141 FAX：042-850-9142

MAIL：fujita@shogaisha.co.jp



2023年

8月24日(木) 14:00~16:30

町田地域障がい者雇用企業連絡会

勉強会

講演内容

第1部

短時間雇用プロジェクトの
実施状況と特定短時間労働について

障害者と働くことがもたらす
職場の「気づき」

講師 **平井 恭順氏**

川崎市健康福祉局障害計画課 課長

2001年クレジットカード会社に入社。
コールセンター管理運営、経理、シ
ステム関連業務に従事。
2009年川崎市役所入庁。
ホームレス自立支援、生活困窮者自
立支援、障害者雇用・就労支援を担当。
2023年から現職。



講師 **北野 嘉信氏**

株式会社北野書店 代表取締役

1947年設立、創業76年目を迎え
た地域密着型の書店を、川崎市幸
区の鹿島田駅前で経営。
障害者雇用にも積極的に取り組ん
でおり、平成29年度から、川崎市
が行う短時間雇用プロジェクトに
も参画。
現在、NPO法人ダイバーシティサ
ポートかわさき理事、川崎商工会
議所議員。

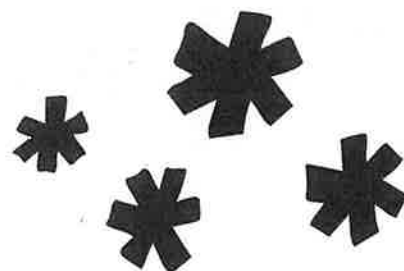


第2部

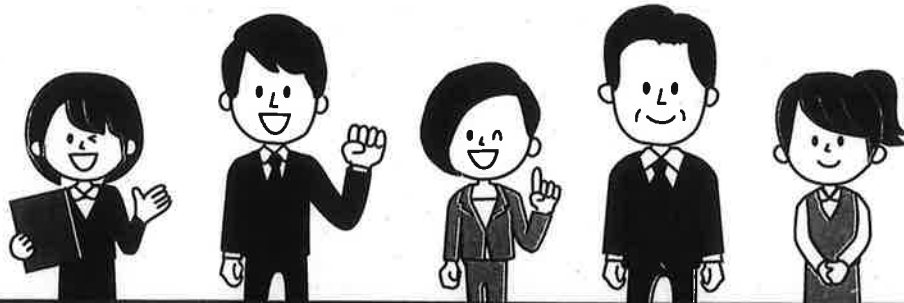
障がいのある方へのキャリア支援
～ 職場体験の充実とジョブマッチング～

講師 **藤本 英理子氏**

社会福祉法人つるかわ学園
町田市障がい者就労・生活支援センターりんく
センター長



町田地域
障がい者雇用企業連絡会



連絡会の主な活動内容

- ・ **コミュニティ形成**・・・障がい者雇用に関する企業や団体や行政との「仲間づくり」を推進します
- ・ **情報提供**・・・ご要望や課題に応じた障がい者雇用関係の各種情報提供を行います
- ・ **各種ご相談調整**・・・当連絡会のネットワークを通じて相談先とご希望者とのマッチングを行います
- ・ **講演会・情報交換会の開催**・・・障がい者雇用に関する情報交換や交流を目的とした情報交換会を定期的に開催いたします

申込み

申込締切日：2023年8月10日(木)

参加定員：50名 定員達し次第受付終了

参加費：1,000円

申込み URL

<https://forms.gle/XBHGDVd5jp5MSrnq9>

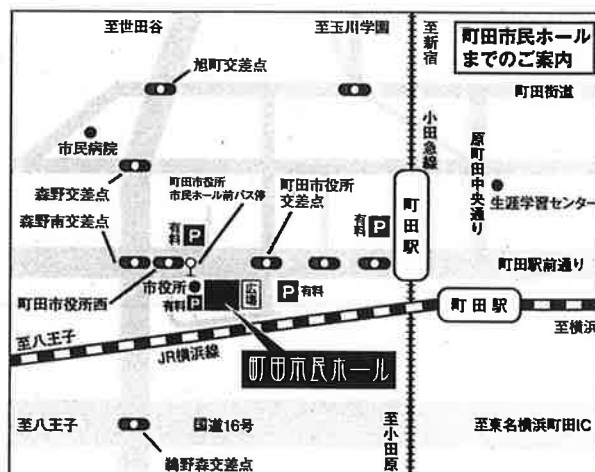
右記のQRコード
を読み取りご登録
ください。



会場

町田市民ホール 1階 第4会議室

〒194-0022 東京都町田市森野 2-2-36



お問合せ先

町田地域障がい者雇用企業連絡会・事務局
事務局設置場所（株式会社障碍社内）

〒194-0013 東京都町田市原町田 4-18-6-101

TEL：042-850-9141 FAX：042-850-9142

MAIL：fujita@machida-kigyonet.jp（藤田）



町田地域

障がい者雇用企業連絡会

発行日	2023年6月27日
宛名	公明党
合計	¥4,000
但し	シンポジウム視聴券
注文日	2023年6月27日
注文番号	21477151
主催者	ソトノバ sotonoba (ソトノバ)
イベント名	ウォーカブルシティ・国際シンポジウム2023



印刷する

編集モード



- Jeff Speck (Speck & Associates LLC)

都市計画家・作家として、ウォークブルシティの国際的な提唱者。2003年から2007年まで全米芸術基金のデザイン担当ディレクターとして、Mayors' Institute on City Designを主宰、Governors' Institute on Community Designを設立した。連邦政府から任命される以前は、ニューアーバニズムの中心的存在であるDPZ & Co.の都市計画ディレクターとして10年間を過ごした。2007年からは、主にアメリカの都市を対象に、受賞歴のある民間デザインコンサルタント会社、Speck & Associatesを率いている。

アンドレス・デュアニー、エリザベス・ブラター＝ザイパークとの共著『Suburban Nation』は、ウォール・ストリート・ジャーナル紙で「都市主義者のバイブル」と評される。『Walkable City』（2012年出版）は、過去10年間で最も売れた都市計画書であり、8カ国語に翻訳されている。また、『The Smart Growth Manual』『Walkable City Rules』の著者でもある。

Event Summary | イベント概要 :

日時：2023年6月30日 (金) 13:00~17:30 (開場：12:30)

会場：コンファレンススクエア M+ グランド 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目5-2 三菱ビル10F

※ハイブリッド開催

対象：どなたでもご参加いただけます

定員：会場90名/オンライン500名

主催：一般社団法人ソトノバ

共催：Placemaking Japan

協力：一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会
三菱地所株式会社

NPO法人 大丸有エリアマネジメント協会

助成：国土交通省・官民連携まちなか再生推進事業/大林財団

申込：当Peatixよりお申し込みください。

※オンラインチケットをご購入の皆様へは、Peatixメッセージにて視聴URLをご連絡させていただきます。イベント開始時までにPeatixメッセージをご確認ください。

参加費：

■ (会場参加) シンポジウム入場券

一般：3,000円

ソトノバ割：2,000円

■ (会場参加) シンポジウム入場券+交流会参加券

一般：5,000円

ソトノバ割：4,000円

■ (オンライン参加) シンポジウム視聴券

一般：4,000円

ソトノバ割：3,000円

※券種問わず、お申し込みいただいた方にはシンポジウム見逃し配信のURLをお送りいたします！（コンテンツ調整中/イベント終了後、準備が整い次第）

※ソトノバ割の割引コードはソトノバコミュニティ会員に共有致します。

Program | プログラム :

■13:00~

<OPENING>

・泉山 豊威 (日本大学理工学部建築学科准教授/一般社団法人ソトノバ共同代表理事/
Placemaking Japan)

■13:10～

<Keynote Speech>

『Jeff Speck on the Comfortable and Interesting Walk

-ジェフ・スペックが語る、快適で楽しい歩行空間-

・ Jeff Speck (Walkable City Rules 著者 / Speck & Associates LLC)

<Q&A>

・ 泉山 豊威 (日本大学理工学部建築学科准教授 / 一般社団法人ソトノバ共同代表理事 / Placemaking Japan)

・ 長谷川 千紘 (一般社団法人ソトノバ)

※Q&A事前募集を行っております (<https://sotonoba.place/2023walkablecity>)

■14:20～

<Session1>

『日本のウォークアブル手法の現状と可能性』

・ 太田 裕之 (国土交通省都市局街路交通施設課)

・ 大藪 善久 (SOCl inc. 代表)

・ 三浦 詩乃 (一般社団法人ストリートライフ・メイカーズ代表理事 / 東京大学客員連携研究員)

・ 宋 俊煥 (山口大学 准教授)

■15:35～

<Session2>

『ウォークアブルシティに向けた公民連携と経済性』

・ 大原 大志 (三菱地所株式会社 / 一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会)

・ 笠井 信行 (安田不動産 開発第一部長)

・ 西村 亮彦 (国土館大学 理工学部 准教授)

・ 田邊 優里子 (株式会社オンデザインパートナーズ / Placemaking Japan)

・ 西田 司 (株式会社オンデザインパートナーズ代表)

■16:50～

<Special Session>

『日本のウォークアビリティの戦略と評価』

・ Jeff Speck (Speck & Associates LLC)

・ 泉山 豊威 (日本大学理工学部建築学科准教授 / 一般社団法人ソトノバ共同代表理事 / Placemaking Japan)

・ 三浦 詩乃 (一般社団法人ストリートライフ・メイカーズ代表理事 / 東京大学客員連携研究員)

・ 西村 亮彦 (国土館大学 理工学部 准教授)

・ 宋 俊煥 (山口大学大学院創成科学研究科 / 准教授)

・ 西田 司 (株式会社オンデザインパートナーズ代表)

■17:30～

<交流会>

・ ケータリングをご用意しております。

Please note the following | 注意事項 :

- ・ 申込後のキャンセル・変更等はできません。
- ・ 開催中の参加者による録音、録画、スクリーンショットの撮影は禁止とさせていただきます。
- ・ スケジュールは予告なく変更する場合がございます。
- ・ プログラム進行の妨げや、参加者の迷惑になると主催者が判断するような言動があった場合は、強制で退出頂く可能性がございます。
- ・ お申し込みいただいた情報は今後ソトノバからのイベントの連絡などに利用させていただきますのでご了承の上、お申し込みください。
- ・ 本事業は国土交通省、官民連携まちなか再生推進事業、普及啓発事業の採択を受けて実施します。

領収データ - 第154回まちづくり懇話会 | 都市計画情報の利活用とまちづくりDX

発行日	2024年2月6日
宛名	公明党
合計	¥2,000
但し	参加費
注文日	2023年11月8日
注文番号	23225516
主催者	日本都市計画学会 (日本都市計画学会)
イベント名	第154回まちづくり懇話会 都市計画情報の利活用とまちづくりDX

[印刷する](#)[編集モード](#)

学会案内

イベント

刊行物

CPD

会員限定コンテンツ

JP / EN

お問い合わせ

お問い合わせ

お問い合わせ

事業委員会

Committee

委員会 事業委員会 第154回まちづくり懇話会（ハイブリッド）開催のご案内

委員長挨拶

委員名簿

イベント履歴

まちづくり拝見研修会開催のご案内

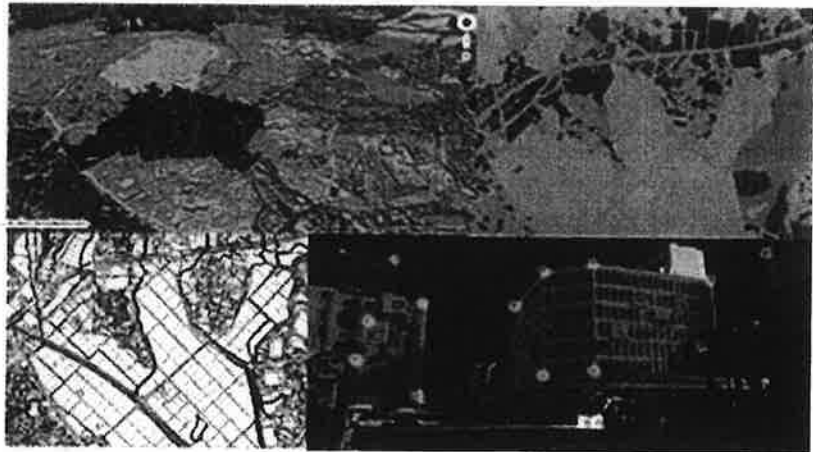
第45回現地見学会開催のご案内

第47回都市計画セミナー（オンライン）開催のご案内

第155回まちづくり懇話会（ハイブリッド）開催のご案内

第154回まちづくり懇話会（ハイブリッド）開催のご案内

都市計画情報の利活用とまちづくりDX



従来から都市計画・まちづくりの分野では、都市の現況を幅広く調査し、将来像を展望した上で、都市計画決定をはじめとする様々な施策展開が図られてきました。今後、これらの豊富な情報をデータ化・オープン化し、他分野との連携を図りながら、その利活用を広げていくことが求められています。

そして近年は、豊かで多様な暮らし方を支える「人間中心のまちづくり」の実現に向け、データ収集・分析技術の活用、3D都市モデルProject PLATEAUの整備、都市交通シミュレーションの高度化など、デジタル技術を用いたまちづくりのDX化が進められています。

今回のまちづくり懇話会では、こうしたまちづくりにおけるDXやデータ利活用に関する国土交通省の取組について説明し、併せて最新のパーソントリップ調査の結果についてもご紹介頂く予定です。

是非、ご参加ください。

お問い合わせ

学会案内

イベント

刊行物

CPD

会員限定コンテンツ

JP / EN

■主催：公益社団法人 日本都市計画学会

■開催方法：ハイブリッド開催

[会場参加] 3×3 Lab Future [東京都千代田区大手町] (定員30名、先着順)

[オンライン参加] ZOOMウェビナーによるLive配信 (定員300名)

※接続方法などにつきましては申込み頂いた方に別途お伝えいたします。

■参加費：会員 1,500 円 / 非会員 2,000円 / 学生500 円

※会場参加の場合は、上記金額に加え、1,000円（学生は500円）を会場にてお支払い頂きます。

※見逃し配信を致します。当日、ご都合により参加頂けない場合でも、後日視聴頂けます（ご利用には事前参加申し込みが必要です）。

■お申込み方法： Peatixサイトよりお申込み・参加費のお支払いをお願い致します。

※お申込みにはPeatixの会員登録が必要となります。

※チケットは一人様につき1枚をお申込みください。

※請求書でのお支払いやインボイス制度対応の領収書が必要な場合、5名以上のお申込み等については下記までお問合せください。

■お問い合わせ：

日本都市計画学会 まちづくり懇話会係

TEL 03-3261-5407 / E-Mail cpj-conwakai[at]cpj.or.jp

※[at]は@に置き換えて下さい

講師ご紹介

新屋 千樹 / しんや・かずしげ (国土交通省 都市局 都市計画調査室長)

バナー広告

広告及びリンク先の内容等に関する責任は、
広告主に帰属します。

バナー広告募集についてはこちら

バナー広告1 <募集中>

バナー広告2 <募集中>

バナー広告3 <募集中>

[お問い合わせ](#)

[プライバシーポリシー](#)

[サイトマップ](#)

領収データ - 第47回都市計画セミナー | まちづくりGX - 気候変動対応、生物多様性確保、well-being向上の観点から持続可能な都市計画・まちづくりを考える

発行日	2024年2月6日
宛名	公明党
合計	¥8,000
但し	参加費
注文日	2024年2月6日
注文番号	24341731
主催者	日本都市計画学会 (日本都市計画学会)
イベント名	第47回都市計画セミナー まちづくりGX - 気候変動対応、生物多様性確保、well-being向上の観点から持続可能な都市計画・まちづくりを考える



印刷する

編集モード



公益社団法人日本都市計画学会
第47回都市計画セミナー

まちづくりGX

気候変動対応、生物多様性確保、well-being向上の観点から
持続可能な都市計画・まちづくりを考える

第1日目 2/6 [火]・第2日目 2/9 [金]・第3日目 2/14 [水]

趣旨

加速する気候変動や生物多様性の損失など現在進行形の地球規模の危機への対応とともに、Well-Being 向上など、経済成長だけではないこれからの幸福をめざす社会への転換に対しては、人口・資産・産業等が集積する都市が率先して取り組むことが求められています。企業や金融の活動においては、ESG 投資や企業による気候関連 / 自然関連財務情報開示(TCFD/TNFD) が世界的な広がりを見せるなど、環境分野における民間投資の動きも変化しています。

国土交通省による「まちづくり GX(グリーン・トランスフォーメーション)」の制度検討は、このような状況下において、都市計画制度小委員会での議論を受け行われています。

今回の都市計画セミナーでは、気候変動対応、生物多様性確保、well-being向上の観点から、まちづくり GX に関する最新動向や各分野・地域・企業での取り組みの紹介を通じて、持続可能な都市計画・まちづくりの方向性を展望します。

テーマ

■第1日目 | 2024年2月6日(火) 13:00~16:10

まちづくりGXの概要と意義 / 世界の潮流・日本の動向
国土交通省で制度化の検討が進む「まちづくり GX」の概要や背景、キーワードとなる気候変動対応、生物多様性確保、well-being向上に関する世界の潮流や国内の動向の観点から大きな流れを俯瞰。

■第2日目 | 2024年2月9日(金) 13:00~17:10

まちづくりGXと経済 / 都市開発と企業の取組み
企業活動や金融分野でも持続可能性に配慮した動きが加速。脱炭素、生物多様性、well-beingを中心にした最新動向とともに、民間事業者による都市開発の先進事例を通じて、企業が未来の都市づくりにどのように貢献しようとしているかを紹介。

■第3日目 | 2024年2月14日(水) 13:00~17:00

交通政策とインフラ改善 / 都市のエネルギー利用の効率化 / 住民参加とコミュニティ / 都市における well-being
「まちづくり GX」を実現するために必要な様々な取組に焦点をあてる。緑地の確保とともに、交通政策・インフラ整備・エネルギー問題・住民参加によるアプローチなど、持続可能な未来の都市計画・まちづくりのための方向性を模索。

開催方式

オンライン開催 (ZOOM ウェビナーによる Live 配信)

※接続方法などにつきましてはお申込み頂いた方に別途お伝えいたします。

※オンデマンド配信 (見逃し配信) を致します。ご都合により参加頂けない場合でも、後日視聴が可能です。ただし、事前参加申し込み (視聴希望日分のチケット購入) が必要です。

申込方法

原則、Peatix サイトからのお申し込み・参加費のお支払いをお願い致します。

請求書払いを希望される方は、下記 URL 内の参加申込フォームよりお申込み下さい。

<https://www.cpij.or.jp/com/proj/s47.html>

参加費

【3日間共通券】 会員：5,000 円 非会員：8,000 円 学生：1,000 円

【1日参加券】 会員：2,000 円 非会員：3,000 円

※学生の1日参加の料金設定はございません。3日間共通券をご購入下さい。



Peatix サイト

第1日目 2/6 [火]

- 13:00-13:05 開会挨拶(趣旨説明)
古澤 達也(日本都市計画学会 常務理事(事業委員長))
- 13:05-13:50 まちづくりGXについて
菊地 雅彦(国土交通省 大臣官房技術審議官(都市局担当))
- 13:50-14:40 これからの都市・まちづくりを考える視点
横張 真(東京大学 教授)
- 14:40-15:25 都市行政におけるカーボンニュートラルの推進
市川 智秀(国土交通省 都市局都市政策課 都市環境政策室長)
- 15:25-16:10 ネイチャーポジティブ経済の実現に向けた政府の取り組み
浜島 直子(環境省 自然環境局自然環境計画課 生物多様性主流化室長)

第2日目 2/9 [金]

- 13:00-14:00 TNFD開示枠組と今後の展開
原口 真(MS&ADインターリスク総研株式会社)
- 14:00-14:30 気候対策とネイチャーポジティブを先取りする街への転換と認証制度の活用
平松 宏城(株式会社ヴォンエルフ、株式会社 Arc Japan)
- 14:30-15:00 サステナブルファイナンスに係る金融庁の取組
西田 勇樹(金融庁 総合政策局総合政策課サステナブルファイナンス推進室)
- 15:00-15:30 金融機関から見る環境配慮対応・well-being対応の動向
室 剛朗(株式会社価値総合研究所)
- 15:40-16:10 広域渋谷圏の都市開発事業におけるネイチャーポジティブへの貢献
松本 恵(東急不動産ホールディングス株式会社)
- 16:10-16:40 社有地における緑地の創出による地域貢献の意義と効果
鈴木 由香(大日本印刷株式会社 サステナビリティ推進委員会事務局)
- 16:40-17:10 GreenとWellness-麻布台ヒルズにおける新たな試み
清水 陽一郎(森ビル株式会社都市開発本部)

第3日目 2/14 [水]

- 13:00-13:30 歩行者中心の地区交通と公共空間の再編によるまちづくりGX
高松 誠治(スペースシンタックス・ジャパン株式会社)
- 13:30-14:00 グリーンインフラ推進戦略2023
清水 充(国土交通省 総合政策局環境政策課長)
- 14:00-14:30 札幌都心のエネルギー施策
菅原 歩積(札幌市まちづくり政策局都心まちづくり推進室)
- 14:30-15:00 地域との共創によるカーボンニュートラルなまちづくり-エネルギー事業者の立場から
清田 修(東京ガス株式会社企画部エネルギー公共グループ)
- 15:10-15:40 東京都における「農の風景育成地区」と「緑農住」まちづくりの取組み
菅原 淳子(東京都 都市整備局都市づくり政策部緑地景観課長)
- 15:40-16:10 市民協働による都市の生物多様性・樹木管理 DX
藤木 庄五郎(株式会社バイオーム 代表取締役)
- 16:10-16:55 都市の緑と well-being
岩崎 寛(千葉大学 教授)

領収データ - 第155回まちづくり懇話会 | 札幌市のリーディングプロジェクト「新さっぽろ」の再構築 ～再生の構想、民間活力による実現～

発行日	2024年3月13日
宛名	公明党
合計	¥2,000
但し	参加費
注文日	2024年3月13日
注文番号	24821770
主催者	日本都市計画学会 (日本都市計画学会)
イベント名	第155回まちづくり懇話会 札幌市のリーディングプロジェクト「新さっぽろ」の再構築 ～再生の構想、民間活力による実現～

[印刷する](#)[編集モード](#)

学会案内

イベント

刊行物

CPD

会員限定コンテンツ

JP/EN

マイページ

問い合わせ

お問い合わせ

事業委員会

委員長挨拶

委員名簿

イベント履歴

まちづくり拝見研修会開催のご案内

第45回現地見学会開催のご案内

第47回都市計画セミナー（オンライン）開催のご案内

第155回まちづくり懇話会（ハイブリッド）開催のご案内

第155回まちづくり懇話会（ハイブリッド）開催のご案内

札幌市のリーディングプロジェクト「新さっぽろ」の再構築～再生の構想、民間活力による実現～



写真提供：大成建設



写真撮影：林広明（ロココプロデュース）

新さっぽろは、JRと地下鉄などが乗り入れる交通結節点であり、札幌市の副都心として1970年代から公共施設や商業施設の集積が行われてきた核となる拠点です。その新さっぽろの再構築を目指し、駅前の市営住宅跡地について、民間事業者から幅広い開発提案を募り、官民協働のまちづくりを進めてきたところです。

大和ハウス工業株式会社を代表事業者とした提案が最優秀案となり、「商業、ホテル、予防医療・地域医療、タワーマンション、子育て、産学連携、教育の7つの成長エンジン」をコンセプトとする事業がスタートしました。G街区に大学や専門学校などの教育施設、I街区に医療施設4棟、分譲マンション、ホテル、商業施設、共用駐車場を開発し、コンパクト&スマートシティをめざした駅前拠点再生のモデルとなりうる大規模複合プロジェクトです。「マールク新さっぽろ」という名称が決まり2023年12月に全ての施設が完成し、まちびらきを迎えました。またエリアマネジメント組織を立ち上げ、地域連携型の賑わい創出や共用部の美化事業などパブリックスペースを活かしたまちづくりを行い、ガスコジェネのエネルギーセンターではAIを活用したCEMSにより、低炭素でサステナブルなまちづくりを目指しています。

らお話を伺い、官民連携の開発事業推進、ウォーカ
現についてディスカッションをします。

学会案内

イベント

刊行物

CPD

会員限定コンテンツ

JP/EN

マイページ

お問い合わせ

お問い合わせ

2024年3月15日[金] 18:00~20:00

■主催：公益社団法人 日本都市計画学会

■開催方法：ハイブリッド開催

[会場参加] 日本都市計画学会事務局 会議室 [東京都千代田区一番町10 一番町ウエストビル6階] (定員10名、先着順)

[オンライン参加] ZOOMウェビナーによるLive配信 (定員300名)

※接続方法などにつきましては申込み頂いた方に別途お伝えいたします。

■参加費：会員 1,500 円 / 非会員 2,000 円 / 学生 500 円 (税込)

※見逃し配信を致します。当日、ご都合により参加頂けない場合でも、後日視聴頂けます (ご利用には事前参加申し込みが必要です)。

■お申込み方法： Peatixサイトよりお申込み・参加費のお支払いをお願い致します。

※お申込みにはPeatixの会員登録が必要となります。

※チケットはお一人様につき1枚をお申込みください。

※請求書 (インボイス制度対応) でのお支払いを希望される場合や、5名以上のお申込み等については下記までお問合せください。

※インボイス制度対応の領収書が必要な方は、Peatixにてチケット購入時に表示されるフォーム内にて、領収書の宛名等をご記載ください。後日、日本都市計画学会事務局よりメールにて領収書をお送りいたします。

■CPDについて：本イベントは都市計画CPD認定プログラムです。受講証明書は「会場参加」または「Live視聴」、「オンデマンド視聴 (見逃し配信)」を明記し、発行します。なお、「見逃し配信」による視聴については、都市計画CPDの単位付与は事務局では行いません。ご自身でご登録下さい。

■お問い合わせ：

日本都市計画学会 まちづくり懇話会係

TEL 03-3261-5407 / E-Mail cpj-conwakai[at]cpj.or.jp

※[at]は@に置き換えて下さい

講師ご紹介



学会案内

イベント
刊行物
CPD

会員限定イベント

JP/EN

都市計画部事業推進課 計画係長

マン

事務局 マウゼス

研修・研究・会議費

頁小計

¥2,000

円

備考

領 収 書

おく栄一様

¥2,000-

但し、令和5年度 小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会費として

令和5年6月5日 上記の金額、正に領収いたしました

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟

会 長 中村 昌治

3401

令和5年度
小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
総 会

日 時 令和5年5月26日(金)

午後3時30分から

会 場 町田市民ホール 第4会議室

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費

頁小計

1,000円

備考

4401

領 収 証

NO. 48

小野寺 まなぶ 様

2023年 5月 16日

¥ 1,000 (税込)

但 町田地域障がい者雇用企業連絡会 勉強会参加費として
上記正に領収いたしました。

町田地域障がい者雇用企業連絡会
事務局

(事務局設置場所)
東京都町田市原町田4-18-6-101
TEL 042-850-9141

勉強会

町田地域障がい者雇用企業連絡会

2023年

5月16日 火

14:00

～16:00

講師

第1部

保育・教育施設における障がい者雇用

～障がい者雇用を通じた
インクルーシブ社会の実践～

齋藤 祐善氏

学校法人正和学園 理事長

齋藤祐善氏プロフィール



1973年生まれ。保育園副園長、社会福祉法人理事、町田市議会議員などを経て学校法人正和学園理事長に就任。(正和学園創立より82年。4代目)2児(双子)の父。元全国私立保育連盟国際委員、元町田市社会福祉協議会理事など。

現在ほかに、社会福祉法人芳美会理事長、一般社団法人東

京都民間保育園協会青年委員、全国認定こども園協会次世代リーダー委員、全国小規模保育協議会東京チャプター長、一般社団法人こどもDX推進協会顧問など。

【セミナー概要】

2023年度障がい者法定雇用率は2.7%（段階的な引き上げのため2023年度は現状維持）となる中で、障がい者雇用について考える保育・教育施設も多いと思います。

なぜ障がい者雇用をはじめたのか、障がい者を雇用するにはどのようにしたらよいか、また保育・教育施設における障がい者の方の働き方や現場の変化について写真等をまじえながら、障がい者の方にも活躍していただける社会について考えます。

会場

町田市民ホール 1階 第3会議室

〒194-0022 東京都町田市森野2-2-36

申込締切日：2023年5月9日(火)

参加定員：30名

参加費：1,000円

お問い合わせ

町田地域障がい者雇用企業連絡会 事務局 藤田

事務局設置場所：株式会社障害社

〒194-0013 東京都町田市原町田 4-18-6

TEL：042-850-9141 FAX：042-850-9142

MAIL：fujita@shogaisha.co.jp



領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	2,000 円	備考	
440Z				

領 収 書

小野寺 まゆぶ 様

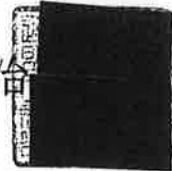
¥ 2, 0 0 0 -

但し、令和5年度 小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会費として

令和5年6月5日 上記の金額、正に領収いたしました

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟

会 長 中村 昌治



令和5年度
小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
総 会

日 時 令和5年5月26日(金)

午後3時30分から

会 場 町田市民ホール 第4会議室

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	2000 円	備考	

5401

領 収 書

山下 七郎 様

¥ 2, 0 0 0 -

但し、令和5年度 小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会費として

令和5年6月5日 上記の金額、正に領収いたしました

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟

会 長 中村 昌治



令和5年度
小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
総 会

日 時 令和5年5月26日(金)

午後3時30分から

会 場 町田市民ホール 第4会議室

総 会 次 第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議長選出

4 議 案

議案第1号 令和4年度 活動報告

議案第2号 令和4年度 収支報告及び会計監査報告

議案第3号 役員を選任（案）

議案第4号 令和5年度 活動計画（案）


議案第5号 令和5年度 収支予算（案）

議案第6号 決議（案）

5 来賓あいさつ及び紹介

6 閉 会

令和4年度 活動報告

月 日	活 動 内 容	備 考
5月26日	総 会 ・令和3年度 活動報告 ・令和3年度 収支報告及び会計監査報告 ・小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会則の一部を改正する会則（改正案） ・役員の変更（案） ・令和4年度 活動計画（案） ・令和4年度 収支予算（案） ・決議（案）	
8月22日	第1回役員会 ・総会の結果について ・本年度の活動について	
11月7日	要望活動（国土交通省）	
11月8日	要望活動（神奈川県）	
11月14日	要望活動（東京都、小田急電鉄株）	
11月21日	研修会 ・神奈川東部方面線の事業概要 及び都市鉄道利便増進事業について （講師：国土交通省鉄道局都市鉄道政策課長）	※会場参加とオンライン 参加の併用型 （対象者限定）  YouTube QR コード
1月26日	第2回役員会 ・令和4年度 活動報告 ・令和4年度 収支決算見込み ・令和5年度 活動計画（案）及び収支予算（案） ・令和5年度 総会について	

令和4年度 収支報告

< 収入 >

(単位:円)

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	摘要
1 会費	226,000	226,000	0	2,000円×113人
2 繰越金	334,939	334,939	0	
3 諸収入	61	3	△ 58	預金利子
計	561,000	560,942	△ 58	

< 支出 >

(単位:円)

科目	予算額 (A)	支出済額 (B)	残額 (A-B)	摘要
1 事業推進費	513,000	159,116	353,884	
(1)会議費	110,000	30,192	79,808	総会、役員会 経費 等
(2)活動費	403,000	128,924	274,076	要望活動、研修会 経費 等
2 事務費	40,000	31,119	8,881	郵便料、事務用品購入費 等
3 予備費	8,000	0	8,000	
計	561,000	190,235	370,765	

< 差引 >

(収入済額) (支出済額) (次年度繰越額)
 560,942円 - 190,235円 = 370,707円

会計監査報告書

2024. 4月
小田急
田原. 12月
2024. 4月
12月

本議員連盟の令和4年度収支決算について、出納簿、証拠書類等を
監査したところ、適正に執行されていると認めます。

令和5年4月17日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟

監査 小野 弘

監査 石井 芳隆



役員を選任（案）

役 職	職 名	氏 名
副会長	清川村議会議員	城 所 英 樹
理 事	相模原市議会議長	古 内 明
理 事	相模原市議会議員	こさわ 隆 宏
監 査	相模原市議会議員	大 槻 和 弘
事務局	厚木市議会議員	田 口 孝 男

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会則（抄）

（役 員）

第5条

2 役員任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、その職務は後任者の就任のときまで行うものとする。また、役員任期において選任に変更があった場合は、その任期は前任者等の残任期間とする。

選任後の役員一覧（案）

役 職	職 名	氏 名
会 長	相模原市議会議員	中 村 昌 治
副会長	町田市議会議員	佐 藤 伸一郎
副会長	相模原市議会議員	大 沢 洋 子
副会長	厚木市議会議長	松 田 則 康
副会長	愛川町議会議長	渡 辺 基
副会長	<u>清川村議会議員</u>	<u>城 所 英 樹</u>
理 事	町田市議会議長	戸 塚 正 人
理 事	町田市議会議員	藤 田 学
理 事	町田市議会議員	山 下 てつや
理 事	町田市議会議員	佐 藤 和 彦
理 事	<u>相模原市議会議長</u>	古 内 明
理 事	相模原市議会議員	森 繁 之
理 事	相模原市議会議員	岡 本 浩 三
理 事	<u>相模原市議会議員</u>	<u>こさわ 隆 宏</u>
理 事	厚木市議会議員	川 口 仁
理 事	厚木市議会議員	栗 山 香代子
理 事	厚木市議会議員	井 上 敏 夫
理 事	愛川町議会議員	阿 部 隆 之
会 計	相模原市議会議員	西 家 克 己
監 査	<u>相模原市議会議員</u>	<u>大 槻 和 弘</u>
監 査	厚木市議会議員	石 井 芳 隆
事務局長	相模原市議会議員	渡 部 俊 明
事務局	町田市議会議員	三遊亭 らん丈
事務局	<u>厚木市議会議員</u>	<u>田 口 孝 男</u>
事務局	愛川町議会議員	岸 上 敦 子
事務局	清川村議会議員	藤 田 義 友

令和5年度 活動計画（案）

「小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会則」に基づき、次の活動を行う。

令和5年度		令和4年度
実施時期	活動内容	実施状況
5月9日（火）	第1回役員会	8月22日（月） 第1回役員会
5月26日（金）	総会 【町田市民ホール 第4会議室】	5月26日（木） 総会 【相模原市立産業会館】
5月～12月	要望活動 （国、都県、鉄道事業者）	11月7日（月） 国土交通省 11月8日（火） 神奈川県 11月14日（月） 東京都、小田急電鉄㈱
1～2月	研修会等	11月21日（月） 研修会 （神奈川東部方面線の事業概要及び 都市鉄道利便増進事業について） ※講師：国土交通省鉄道局都市鉄道政策課長
3月下旬	第2回役員会	1月26日（木） 第2回役員会

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会則（抄）

（事業）

第3条 この会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- （1）小田急多摩線延伸事業の促進運動に関する情報交換と連携
- （2）国都県及び関係機関に対する積極的な要望活動
- （3）広報活動その他目的達成に必要な事業

令和5年度 収支予算 (案)

< 収 入 >

(単位:円)

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増 減 額 (A-B)	摘 要
1 会 費	222,000	226,000	△ 4,000	2,000円×111人 222,000
2 繰 越 金	370,707	334,939	35,768	
3 諸 収 入	293	61	232	
計	593,000	561,000	32,000	

< 支 出 >

(単位:円)

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増 減 額 (A-B)	摘 要
1 事業推進費	530,000	513,000	17,000	
(1)会議費	110,000	110,000	0	総会、役員会 経費 等
(2)活動費	420,000	403,000	17,000	要望活動、研修会 経費 等
2 事 務 費	50,000	40,000	10,000	事務用品購入費 等
3 予 備 費	13,000	8,000	5,000	
計	593,000	561,000	32,000	

決 議 (案)

小田急多摩線の延伸は、広域交通ネットワークの充実に資することはもとより、首都圏南西部における広域交流拠点の形成のため極めて重要な役割を担うものであり、小田急線唐木田駅からJR横浜線相模原駅、JR相模線上溝駅、更には相模原市田名地区を経由し、愛川・厚木方面への延伸が期待されている。

交通政策審議会答申第198号においては、本議員連盟の設立当初からの積極的な活動が実を結び、唐木田駅から上溝駅までの延伸について、都心部とのアクセス利便性の向上が認められ、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資する意義のあるプロジェクトに選定されており、実現に向けた大きな一歩を踏み出すことができたと認識している。

愛川・厚木方面への延伸について、上溝駅までの整備の進捗を踏まえ、検討することが適当とされていることから、まずは上溝駅までの整備を着実に実現させることが重要である。

また、延伸の意義と同時に収支採算性等の課題が示されたことから、新駅が想定される町田市小山田周辺及び相模総合補給廠一部返還地などの沿線において、需要の創出に繋がる開発を積極的に推進していく必要がある。

延伸の実現に向け、町田市、相模原市が中心となり、関係者とともに検討の深度化が進められていることから、本議員連盟としても延伸の実現に向け、最大限の支援を行うとともに、今後も引き続き、粘り強く関係機関に積極的に働きかけるなど、会員の総意をもって一丸となり、より一層強力な活動を展開することを決意するものである。

以上、決議する。

令和5年5月26日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟

小田急多摩線延伸の早期実現に関する要望書 (案)

平素から、公共交通網の整備や地域の発展につきましては、格別の御高配を賜り、心から感謝申し上げます。

小田急多摩線の延伸は、広域交通ネットワークの充実に資することはもとより、首都圏南西部における広域交流拠点の形成のため極めて重要な役割を担うものであり、小田急線唐木田駅からJR横浜線相模原駅、JR相模線上溝駅、更には相模原市田名地区を經由し、愛川・厚木方面への延伸が期待されております。

交通政策審議会答申第198号においては、本議員連盟の設立当初からの積極的な活動が実を結び、唐木田駅から上溝駅までの延伸について、都心部とのアクセス利便性の向上が認められ、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資する意義のあるプロジェクトに選定されており、実現に向けた大きな一歩を踏み出すことができたと認識しております。また、愛川・厚木方面への延伸については、上溝駅までの整備の進捗を踏まえ検討することが適当とされていることから、まずは上溝駅までの整備を着実に実現させることが重要であります。

延伸の意義と同時に示された収支採算性等の課題を解決するため、町田市、相模原市が中心となり、【要望先】をはじめとする関係者の皆様とともに検討の深度化が進められておりますが、本議員連盟としても、新駅が想定される町田市小山田周辺及び相模総合補給廠一部返還地などの延伸線沿線において、需要の創出に繋がる開発を推進するなど、会員の総意をもって一丸となり、より一層強力な取組を進めて参る所存でございます。

つきましては、地域住民の切実なる願いを叶えるべく、唐木田駅から上溝駅、そして愛川・厚木方面への延伸の実現に向け、特段の御配慮・御支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年 月 日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
会長 中村 昌治

小田急多摩線延伸の早期実現に関する要望書(案)

平素から、公共交通網の整備や地域の発展につきましては、格別の御高配を賜り、心から感謝申し上げます。

小田急多摩線の延伸は、広域交通ネットワークの充実に資することはもとより、首都圏南西部における広域交流拠点の形成のため極めて重要な役割を担うものであり、小田急線唐木田駅からJR横浜線相模原駅、JR相模線上溝駅、更には相模原市田名地区を經由し、愛川・厚木方面への延伸が期待されております。

交通政策審議会答申第198号においては、本議員連盟の設立当初からの積極的な活動が実を結び、唐木田駅から上溝駅までの延伸について、都心部とのアクセス利便性の向上が認められ、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資する意義のあるプロジェクトに選定されており、実現に向けた大きな一歩を踏み出すことができたと認識しております。また、愛川・厚木方面への延伸については、上溝駅までの整備の進捗を踏まえ検討することが適当とされていることから、まずは上溝駅までの整備を着実に実現させることが重要であります。

延伸の意義と同時に示された収支採算性等の課題を解決するため、町田市、相模原市が中心となり、関係者とともに検討の深度化が進められておりますが、本議員連盟としても、新駅が想定される町田市小山田周辺及び相模総合補給廠一部返還地などの延伸線沿線において、需要の創出に繋がる開発を推進するなど、会員の総意をもって一丸となり、より一層強力な取組を進めて参る所存でございます。

つきましては、地域住民の切実なる願いを叶えるべく、唐木田駅から上溝駅、そして愛川・厚木方面への延伸の実現に向け、都市鉄道等利便増進法の事業スキームにおける黒字転換年数の緩和や補助財源の確保などの支援を講じていただきますようお願い申し上げます。

令和5年 月 日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
会長 中村 昌治

小田急多摩線延伸の早期実現に関する要望書(案)

平素から、公共交通網の整備や地域の発展につきましては、格別の御高配を賜り、心から感謝申し上げます。

小田急多摩線の延伸は、広域交通ネットワークの充実に資することはもとより、首都圏南西部における広域交流拠点の形成のため極めて重要な役割を担うものであり、小田急線唐木田駅からJR横浜線相模原駅、JR相模線上溝駅、更には相模原市田名地区を經由し、愛川・厚木方面への延伸が期待されております。

交通政策審議会答申第198号においては、本議員連盟の設立当初からの積極的な活動が実を結び、唐木田駅から上溝駅までの延伸について、都心部どのアクセス利便性の向上が認められ、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資する意義のあるプロジェクトに選定されており、実現に向けた大きな一歩を踏み出すことができたと認識しております。また、愛川・厚木方面への延伸については、上溝駅までの整備の進捗を踏まえ検討することが適当とされていることから、まずは上溝駅までの整備を着実に実現させることが重要であります。

延伸の意義と同時に示された収支採算性等の課題を解決するため、町田市、相模原市が中心となり、関東運輸局をはじめとする関係者の皆様とともに検討の深度化が進められておりますが、本議員連盟としても、新駅が想定される町田市小山田周辺及び相模総合補給廠一部返還地などの延伸線沿線において、需要の創出に繋がる開発を推進するなど、会員の総意をもって一丸となり、より一層強力な取組を進めて参る所存でございます。

つきましては、地域住民の切実なる願いを叶えるべく、唐木田駅から上溝駅、そして愛川・厚木方面への延伸の実現に向け、都市鉄道等利便増進法の事業スキームにおける黒字転換年数の緩和や補助財源の確保などの支援を講じていただきますようお願い申し上げます。

令和5年 月 日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
会長 中村 昌治

1 会 則

2 顧問・参与名簿

3 会 員 名 簿

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会則

(名 称)

第1条 この会は、「小田急多摩線延伸を促進する議員連盟」という。

(目 的)

第2条 この会は、関係市町村の議員の連携により、小田急多摩線の延伸を促進し、もって近隣市町村の発展と住民福祉の向上に寄与することを目的とする。

(事 業)

第3条 この会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 小田急多摩線延伸事業の促進運動に関する情報交換と連携
- (2) 国都県及び関係機関に対する積極的な要望活動
- (3) 広報活動その他目的達成に必要な事業

(組 織)

第4条 この会は、第2条の目的に賛同する関係市町村の議会議員をもって構成する。

(役 員)

第5条 この会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副会長 5名
- (3) 理 事 若干名
- (4) 会 計 1名
- (5) 監 査 2名
- (6) 事務局長 1名
- (7) 事務局 4名

2 役員任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、その職務は後任者の就任のときまで行うものとする。また、役員任期において選任に変更があった場合は、その任期は前任者等の残任期間とする。

3 会長は、会務を総括する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長が欠けたとき、又は会長に事故があるときは、その職務を代行する。

5 監査は、この会の会計を監査する。

6 事務局長は、会務を掌理する。

7 事務局は、事務局長を補佐する。

8 会長は、必要に応じて、会長代行を置くことができる。

(顧問、参与及び相談役)

第6条 この会に顧問、参与及び相談役を置くことができる。

(事務局)

第7条 この会に事務局を置く。

2 事務局は、会長の市町村に置く。

3 事務局は、第3条に規定する事業の企画、立案等に関する事務を処理する。

(経費)

第8条 この会の経費は、会費その他の収入をもって充てる。

2 会費は年額 2,000 円とする。ただし、会長が必要と認める際は、増額することができる。

3 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終る。

但し、平成21年度においては、平成21年11月4日より翌年3月31日までとする。

(補則)

第9条 この会則に定めるもののほか、必要な事項は別途協議して定める。

(附則)

この会則は、平成21年11月4日から施行する。

(附則)

この会則は、平成22年5月27日から施行する。

(附則)

この会則は、平成24年5月23日から施行する。

(附則)

この会則は、平成26年5月15日から施行する。

(附則)

この会則は、平成28年5月27日から施行する。

(附則)

この会則は、令和4年5月26日から施行する。

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 顧問・参与名簿

役 職	職 名	氏 名	会 派
顧 問	衆議院議員	小 倉 將 信	自由民主党・無所属の会
顧 問	衆議院議員	あかま 二 郎	自由民主党・無所属の会
顧 問	衆議院議員	後 藤 祐 一	立憲民主党・無所属
顧 問	衆議院議員	伊 藤 俊 輔	立憲民主党・無所属
顧 問	衆議院議員	中 山 展 宏	自由民主党・無所属の会
顧 問	衆議院議員	義 家 弘 介	自由民主党・無所属の会
顧 問	参議院議員	朝 日 健太郎	自由民主党
顧 問	参議院議員	生 稻 晃 子	自由民主党
顧 問	参議院議員	牧 山 ひろえ	立憲民主・社民
顧 問	参議院議員	松 沢 成 文	日本維新の会
顧 問	参議院議員	浅 尾 慶一郎	自由民主党
顧 問	参議院議員	三 原 じゅん子	自由民主党
顧 問	参議院議員	島 村 大	自由民主党
顧 問	参議院議員	佐々木 さやか	公明党
顧 問	参議院議員	三 浦 信 祐	公明党
顧 問	参議院議員	水 野 素 子	立憲民主・社民
顧 問	参議院議員	竹 内 真 二	公明党
参 与	東京都議会議員	こいそ 明	東京都議会自由民主党
参 与	東京都議会議員	小 磯 善 彦	都議会公明党
参 与	東京都議会議員	石 川 良 一	都民ファーストの会 東京都議団
参 与	東京都議会議員	藤 井 あきら	都民ファーストの会 東京都議団
参 与	東京都議会議員	星 大 輔	東京都議会自由民主党
参 与	神奈川県議会議員	佐々木 正 行	公明党神奈川県議会議員団
参 与	神奈川県議会議員	てらさき 雄 介	立憲民主党・かながわクラブ神奈川県議会議員団
参 与	神奈川県議会議員	河 本 文 雄	自由民主党神奈川県議会議員団
参 与	神奈川県議会議員	ほそや 政 幸	自由民主党神奈川県議会議員団
参 与	神奈川県議会議員	京 島 けいこ	かながわ未来神奈川県議会議員団
参 与	神奈川県議会議員	山 口 美津夫	自由民主党神奈川県議会議員団
参 与	神奈川県議会議員	小 田 貴 久	かながわ未来神奈川県議会議員団
参 与	神奈川県議会議員	阿 部 将太郎	日本維新の会神奈川県議会議員団
参 与	神奈川県議会議員	さとう 知一	日本維新の会神奈川県議会議員団
参 与	神奈川県議会議員	佐 藤 けいすけ	かながわ未来神奈川県議会議員団
参 与	神奈川県議会議員	難 波 達 哉	自由民主党神奈川県議会議員団

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会員名簿

職名	氏名	会派
町田市議会議員	戸塚 正人	まちだ市民クラブ
町田市議会副議長	いわせ 和子	選ばれる町田をつくる会
町田市議会議員	吉田 つとむ	無所属
町田市議会議員	佐藤 伸一郎	自由民主党
町田市議会議員	藤田 学	自由民主党
町田市議会議員	熊沢 あやり	諸派
町田市議会議員	若林 章喜	選ばれる町田をつくる会
町田市議会議員	おく 栄一	公明党
町田市議会議員	三遊亭 らん丈	自由民主党
町田市議会議員	山下 てつや	公明党
町田市議会議員	松岡 みゆき	無所属
町田市議会議員	佐藤 和彦	まちだ市民クラブ
町田市議会議員	白川 哲也	選ばれる町田をつくる会
町田市議会議員	森本 せいや	まちだ市民クラブ
町田市議会議員	石川 好忠	自由民主党
町田市議会議員	松葉 ひろみ	公明党
町田市議会議員	おぜき 重太郎	諸派
町田市議会議員	小野寺 まなぶ	公明党
町田市議会議員	秋田 しづか	諸派
町田市議会議員	加藤 真彦	自由民主党
町田市議会議員	中川 幸太郎	諸派
相模原市議会議員	古内 明	自由民主党相模原市議団
相模原市議会副議長	大崎 秀治	公明党相模原市議団
相模原市議会議員	加藤 明徳	公明党相模原市議団
相模原市議会議員	須田 毅	自由民主党相模原市議団
相模原市議会議員	大沢 洋子	立憲民主党
相模原市議会議員	中村 昌治	自由民主党相模原市議団
相模原市議会議員	阿部 善博	自由民主党相模原市議団
相模原市議会議員	栗原 大	立憲民主党
相模原市議会議員	寺田 弘子	自由民主党相模原市議団
相模原市議会議員	森 繁之	民主みらい・無所属・地域政党さがみはら
相模原市議会議員	桜井 はるな	立憲民主党
相模原市議会議員	西家 克己	公明党相模原市議団
相模原市議会議員	関根 雅吾郎	民主みらい・無所属・地域政党さがみはら
相模原市議会議員	白井 貴彦	立憲民主党

職名	氏名	会派
相模原市議会議員	鈴木秀成	民主みらい・無所属・地域政党さがみはら
相模原市議会議員	大槻和弘	自由民主党相模原市議団
相模原市議会議員	後田博美	公明党相模原市議団
相模原市議会議員	渡部俊明	自由民主党相模原市議団
相模原市議会議員	石川達	民主みらい・無所属・地域政党さがみはら
相模原市議会議員	南波秀樹	公明党相模原市議団
相模原市議会議員	羽生田学	日本共産党相模原市議団
相模原市議会議員	鈴木晃地	日本維新の会相模原市議団
相模原市議会議員	佐藤尚史	自由民主党相模原市議団
相模原市議会議員	岡本浩三	公明党相模原市議団
相模原市議会議員	秋本仁	自由民主党相模原市議団
相模原市議会議員	大八木聡	自由民主党相模原市議団
相模原市議会議員	中村忠辰	公明党相模原市議団
相模原市議会議員	折笠正治	自由民主党相模原市議団
相模原市議会議員	三須城太郎	民主みらい・無所属・地域政党さがみはら
相模原市議会議員	榎本揚助	民主みらい・無所属・地域政党さがみはら
相模原市議会議員	今宮ゆうき	日本共産党相模原市議団
相模原市議会議員	仁科なつ美	立憲民主党
相模原市議会議員	松浦千鶴子	民主みらい・無所属・地域政党さがみはら
相模原市議会議員	田崎明	日本維新の会相模原市議団
相模原市議会議員	保々富美子	公明党相模原市議団
相模原市議会議員	萩生田康治	自由民主党相模原市議団
相模原市議会議員	山口恒	民主みらい・無所属・地域政党さがみはら
相模原市議会議員	小林たかみち	無所属
相模原市議会議員	岩井大	日本維新の会相模原市議団
相模原市議会議員	こさわ隆宏	日本維新の会相模原市議団
相模原市議会議員	務川慧	自由民主党相模原市議団
相模原市議会議員	谷川ヒロシ	民主みらい・無所属・地域政党さがみはら
相模原市議会議員	西田悠人	自由民主党相模原市議団
厚木市議会議長	松田則康	あつぎみらい
厚木市議会副議長	瀧口慎太郎	ネクストあつぎ
厚木市議会議員	石井芳隆	きずな
厚木市議会議員	田上祥子	公明党
厚木市議会議員	寺岡まゆみ	公明党
厚木市議会議員	川口仁	公明党
厚木市議会議員	神子雅人	ネクストあつぎ

職名	氏名	会派
厚木市議会議員	栗山香代子	日本共産党
厚木市議会議員	名切文梨	あつぎの会
厚木市議会議員	松本樹影	きずな
厚木市議会議員	渡辺貞雄	あつぎみらい
厚木市議会議員	井上敏夫	あつぎの会
厚木市議会議員	遠藤浩一	公明党
厚木市議会議員	新井啓司	きずな
厚木市議会議員	高橋豊	ネクストあつぎ
厚木市議会議員	田口孝男	ネクストあつぎ
厚木市議会議員	山崎由枝	公明党
厚木市議会議員	高橋知己	新政あつぎ
厚木市議会議員	望月真実	新政あつぎ
厚木市議会議員	三橋文男	ネクストあつぎ
厚木市議会議員	高村真和	新政あつぎ
厚木市議会議員	池田博英	日本共産党
厚木市議会議員	後藤由紀子	無会派
厚木市議会議員	奈良直史	ネクストあつぎ
愛川町議会議長	渡辺基	無所属
愛川町議会副議長	木下眞樹子	あすかみらい
愛川町議会議員	井上博明	日本共産党愛川町議員団
愛川町議会議員	小島総一郎	あすかみらい
愛川町議会議員	小林敬子	日本共産党愛川町議員団
愛川町議会議員	馬場司	令和あいかわ
愛川町議会議員	山中正樹	あすかみらい
愛川町議会議員	井出一己	公明党
愛川町議会議員	佐藤茂	無所属
愛川町議会議員	佐藤りえ	公明党
愛川町議会議員	玉利優	無所属
愛川町議会議員	鈴木信一	日本共産党愛川町議員団
愛川町議会議員	岸上敦子	公明党
愛川町議会議員	阿部隆之	令和あいかわ
愛川町議会議員	茅孝之	令和あいかわ
清川村議会議長	細野洋一	無所属
清川村議会副議長	山本雅彦	無所属
清川村議会議員	藤田義友	共産党
清川村議会議員	笹原和織	無所属

職 名	氏 名	会 派
清川村議会議員	城 所 英 樹	無所属
清川村議会議員	細 野 賢 一	無所属
清川村議会議員	落 合 美 和	無所属
清川村議会議員	小 林 大 介	無所属

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費

頁小計

1,000

円

備考

5402

領 収 証

NO. 45

公研充
山下 てつや 様

2023年 5月 16日

¥ 1,000 (税込)

但 町田地域障がい者雇用企業連絡会 勉強会参加費として
上記正に領収いたしました。

町田地域障がい者雇用企業連絡会
事務局

(事務局設置場所)
東京都町田市原町田4-18-6-101
TEL 042-850-9141

※ 領収書は重ねて貼付しない。
※ 領収書が枠からはみ出す場合は別紙に貼る。

勉強会

町田地域障がい者雇用企業連絡会

2023年

5月16日



14:00

～16:00

講師

第1部

保育・教育施設における障がい者雇用

～障がい者雇用を通じた

インクルーシブ社会の実践～

齋藤 祐善氏

学校法人正和学園 理事長

齋藤祐善氏プロフィール



1973年生まれ。保育園副園長、社会福祉法人理事、町田市議会議員などを経て学校法人正和学園理事長に就任。（正和学園創立より82年。4代目）2児（双子）の父。元全国私立保育連盟国際委員、元町田市社会福祉協議会理事など。

現在ほかに、社会福祉法人芳美会理事長、一般社団法人東

京都民間保育園協会青年委員、全国認定こども園協会次世代リーダー委員、全国小規模保育協議会東京チャプター長、一般社団法人こどもDX推進協会顧問など。

【セミナー概要】

2023年度障がい者法定雇用率は2.7%（段階的な引き上げのため2023年度は現状維持）となる中で、障がい者雇用について考える保育・教育施設も多いと思います。

なぜ障がい者雇用をはじめたのか、障がい者を雇用するにはどのようにしたらよいか、また保育・教育施設における障がい者の方の働き方や現場の変化について写真等をまじえながら、障がい者の方にも活躍していただける社会について考えます。

第2部

助成金制度

（含む、直近の障害者雇用促進法改正）

ハローワーク町田（助成金担当）

申込締切日：2023年5月9日(火)

参加定員：30名

参加費：1,000円

会場

町田市民ホール 1階 第3会議室

〒194-0022 東京都町田市森野2-2-36

お問い合わせ

町田地域障がい者雇用企業連絡会 事務局 藤田

事務局設置場所：株式会社障碍社

〒194-0013 東京都町田市原町田4-18-6

TEL：042-850-9141 FAX：042-850-9142

MAIL：fujita@shogaisha.co.jp



研修・研究・会議費

頁小計

1,000 円

備考

5403

領 収 証

NO.

公明克
山下哲也 様

2023年 8月 24日

¥ 1,000 (税込)

但 町田地域障がい者雇用企業連絡会 勉強会参加費として
上記正に領収いたしました。

町田地域障がい者雇用企業連絡会
事務局

(事務局設置場所)
東京都町田市原町田4-18-6-101
TEL 042-850-9141

- ※ 領収書は重ねて貼付しない。
- ※ 領収書が枠からはみ出す場合は別紙に貼る。

2023年

8月24日(木) 14:00~16:30

町田地域障がい者雇用企業連絡会

勉強会

講演内容

第1部

短時間雇用プロジェクトの
実施状況と特定短時間労働について

障害者と働くことがもたらす
職場の「気づき」

講師 **平井 恭順氏**

川崎市健康福祉局障害計画課 課長

講師 **北野 嘉信氏**

株式会社北野書店 代表取締役

2001年クレジットカード会社に入社。
コールセンター管理運営、経理、シ
ステム関連業務に従事。
2009年川崎市役所入庁。
ホームレス自立支援、生活困窮者自
立支援、障害者雇用・就労支援を担当。
2023年から現職。



1947年設立、創業76年目を迎え
た地域密着型の書店を、川崎市幸
区の鹿島田駅前で経営。
障害者雇用にも積極的に取り組ん
でおり、平成29年度から、川崎市
が行う短時間雇用プロジェクトに
も参画。
現在、NPO法人ダイバーシティサ
ポートかわさき理事、川崎商工会
議所議員。

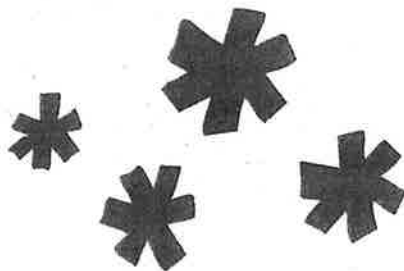


第2部

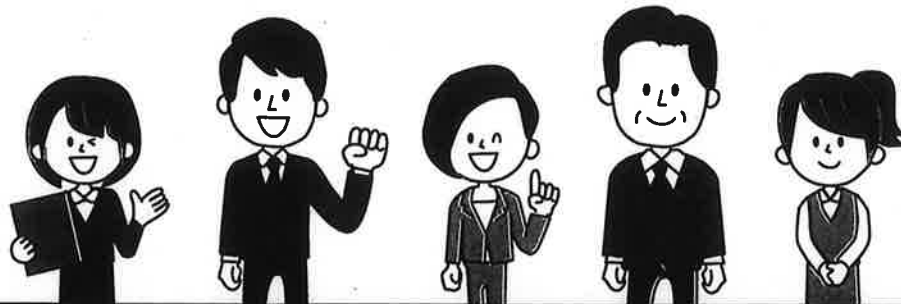
障がいのある方へのキャリア支援
～ 職場体験の充実とジョブマッチング～

講師 **藤本 英理子氏**

社会福祉法人つるかわ学園
町田市障がい者就労・生活支援センター りんく
センター長



町田地域
障がい者雇用企業連絡会



連絡会の主な活動内容

- ・ **コミュニティ形成**・・・障がい者雇用に関する企業や団体や行政との「仲間づくり」を推進します
- ・ **情報提供**・・・ご要望や課題に応じた障がい者雇用関係の各種情報提供を行います
- ・ **各種ご相談調整**・・・当連絡会のネットワークを通じて相談先とご希望者とのマッチングを行います
- ・ **講演会・情報交換会の開催**・・・障がい者雇用に関する情報交換や交流を目的とした情報交換会を定期的を開催いたします

申込み

申込締切日：2023年8月10日(木)
 参加定員：50名 定員達し次第受付終了
 参加費：1,000円

申込み URL

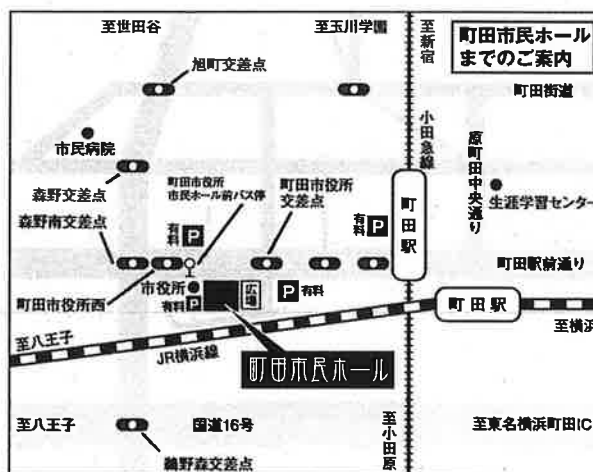
<https://forms.gle/XBHGDVd5jp5MSrnq9>

右記のQRコード
 を読み取りご登録
 ください。



会場

町田市民ホール 1階 第4会議室
 〒194-0022 東京都町田市森野 2-2-36



お問合せ先

町田地域障がい者雇用企業連絡会・事務局
 事務局設置場所（株式会社障碍社内）
 〒194-0013 東京都町田市原町田 4-18-6-101
 TEL：042-850-9141 FAX：042-850-9142
 MAIL：fujita@machida-kigyonet.jp（藤田）



町田地域
 障がい者雇用企業連絡会

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	3,000 円	備考	
-----------	-----	---------	----	--

6401

領 収 証 NO. 46

松葉 ひろみ 様 2023年 5月 16日

¥ 1,000 (税込)

但 町田地域障がい者雇用企業連絡会 勉強会参加費として
上記正に領収いたしました。

町田地域障がい者雇用企業連絡会
事務局
(事務局設置場所)
東京都町田市原町田4-18-6-101
TEL 042-850-9141

6402

領 収 書

松葉 ひろみ 様

¥ 2, 0 0 0 -

但し、令和5年度 小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会費として

令和5年6月5日 上記の金額、正に領収いたしました

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟

会 長 中村 昌治

町田地域障がい者雇用企業連絡会

勉強会

2023年

5月16日



14:00

~16:00

講師

第1部

保育・教育施設における障がい者雇用

～障がい者雇用を通じた
インクルーシブ社会の実践～

齋藤 祐善氏

学校法人正和学園 理事長

齋藤祐善氏プロフィール



1973年生まれ。保育園副園長、社会福祉法人理事、町田市議会議員などを経て学校法人正和学園理事長に就任。(正和学園創立より82年。4代目)2児(双子)の父。元全国私立保育連盟国際委員、元町田市社会福祉協議会理事など。現在ほかに、社会福祉法人芳美会理事長、一般社団法人東京

都民間保育園協会青年委員、全国認定こども園協会次世代リーダー委員、全国小規模保育協議会東京チャプター長、一般社団法人こどもDX推進協会顧問など。

【セミナー概要】

2023年度障がい者法定雇用率は2.7%（段階的な引き上げのため2023年度は現状維持）となる中で、障がい者雇用について考える保育・教育施設も多いと思います。

なぜ障がい者雇用をはじめたのか、障がい者を雇用するにはどのようにしたらよいか、また保育・教育施設における障がい者の方の働き方や現場の変化について写真等をまじえながら、障がい者の方にも活躍していただける社会について考えます。

第2部

助成金制度

(含む、直近の障害者雇用促進法改正)

ハローワーク町田 (助成金担当)

申込締切日：2023年5月9日(火)

参加定員：30名

参加費：1,000円

会場

町田市民ホール 1階 第3会議室

〒194-0022 東京都町田市森野2-2-36

お問い合わせ

町田地域障がい者雇用企業連絡会 事務局 藤田

事務局設置場所：株式会社障碍社

〒194-0013 東京都町田市原町田 4-18-6

TEL：042-850-9141 FAX：042-850-9142

MAIL：fujita@shogaisha.co.jp



令和5年度
小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
総 会

日 時 令和5年5月26日(金)

午後3時30分から

会 場 町田市民ホール 第4会議室

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	13,200 円	備考	
6403				

領 収 書

No0089
2023年09月04日

町田市議会公明党 松葉ひろみ様

¥ 13,200-
妊娠葛藤相談支援者養成研修 研修A参加費として

171-0044東京都豊島区千早4-18-5
キャニオンマンション千早町201
TEL 050-3134-4479 (事務局)
特定非営利活動法人 ピッコラーレ



妊娠が

困りごと

なること

妊娠葛藤相談を受ける支援者のみなさん、

母子保健、児童福祉、教育などに関わる専門職の方、司法機関、警察官の方、

これから支援者として活動したいと思っている方、

そして、新生児遺棄や孤立出産などのニュースを見て何かしたいと思っている方たちのための研修です。

妊娠が困りごとにならない社会を作るために、私たちと一緒に一歩踏み出しませんか？



妊娠をめぐる社会課題を学ぶ

● 妊娠をめぐる社会課題を学ぶ

● 母子保健、児童福祉、教育などに関わる専門職の方、司法機関、警察官の方、これから支援者として活動したいと思っている方、そして、新生児遺棄や孤立出産などのニュースを見て何かしたいと思っている方たちのための研修です。

● 妊娠が困りごとにならない社会を作るために、私たちと一緒に一歩踏み出しませんか？

定員:150名 受講料:税込13,200円

2023
9月18日(祝)
10:00~16:30

● 法人・団体向けに出張研修も行っています。詳細は事務局までお問い合わせください。



相談実践から支援の実際を学ぶ

● 相談実践から支援の実際を学ぶ

● 母子保健、児童福祉、教育などに関わる専門職の方、司法機関、警察官の方、これから支援者として活動したいと思っている方、そして、新生児遺棄や孤立出産などのニュースを見て何かしたいと思っている方たちのための研修です。

● 妊娠が困りごとにならない社会を作るために、私たちと一緒に一歩踏み出しませんか？

定員:60名 受講料:税込24,200円

2023
10月8日(日) 10月9日(祝)
10:00~17:15 9:45~17:15

場所:サンシャインシティ「共創空間」
東京都豊島区東池袋3-1-3 ワールドインポートマートビル9階



研修A



研修B

フォームから
お申込みください

2023年9月9日(土)
定員になり次第締切り

電話 050-3134-4479
school@piccolare.org
認定NPO法人ピッコラーレ事務局



研修A 妊娠をめぐる社会課題を学ぶ

オンライン開催

9/18 月祝	10:00~10:20	イントロダクション 妊娠が困りごとになるとき	
	10:25~11:40	講義①「助けて」と言える社会を目指して ～相談窓口寄せられる妊娠葛藤の実際と課題～	
	11:55~12:40	講義② 中絶後の相談窓口から ～置き去りにされる心、ひとりで抱える女性たち～	
	13:40~15:10	講義③ 若年妊婦の居場所「ぴさら」の実際 ～いつか自分のHOMEを見つけるために～	
	15:25~16:25	講義④ ピッコラーレスタイルの保健室 ～「知りたい」から「知らせたい」へ～	
	16:30	終了	

研修B 相談実践から支援の実際を学ぶ

現地開催

1日目 10/8 日	10:00~11:30	講義① 相談事例から妊娠ソーシャルワークを考える	
	11:40~12:40	講義② 相談事例から見える避妊の実際	
	13:40~15:20	グループワーク① 様々な背景を考慮した相談技術	講師 伊東 由寿子
	15:30~17:10	グループワーク② 電話相談ロールプレイ	
	17:15	終了	
2日目 10/9 月祝	9:45~11:15	講義③ 困難な背景を持つ妊産婦への支援 ～法的な問題を中心に～	講師 馬場 望
	11:25~13:00	グループワーク③ テキスト(メール&SNS)相談	
	14:00~15:30	グループワーク④ 人工妊娠中絶を考える	
	15:40~17:10	グループワーク⑤ ケースカンファレンス	
	17:15	終了	

はピッコラーレ相談支援員が講師を務めます

研修Bの1日目(10/8)終了後、18時から交流会開催予定です。詳細は後日ご案内いたします。

- 各プログラム修了者には、修了証をお渡しします。
- コマ単位での受講はできません。
- 講座内容や時間などは変更する場合があります。
- 当日視聴が原則ですが、やむをえない理由で欠席された方には、研修Aは後日見逃し配信あります。

ピッコラーレの相談支援員希望の方は、研修A&Bの受講が必須です。
なお、今年度の相談支援員募集はありません。

サンシャインシティ「共創空間」

研修B 会場案内

- 豊島区東池袋3-1-3 ワールドインポートマートビル9階
- 池袋駅(UR・東京メトロ・西武線・東武線) 35番出口より徒歩約12分
 - 池袋駅(東京メトロ有楽町線) 6・7番出口より徒歩7分
 - 池袋四丁目(サンシャイン前)停留所(都電荒川線)より徒歩8分

講師プロフィール

伊東 由寿子 Yuko Ito

(株)イトワ代表、社会福祉士。プロフェッショナルコーチ(CTI Japan 応用コース修了)。米国DanceHammer認定カウンセラー。ピッコラーレの前身「にんしんSOS東京」の設立メンバー。福祉現場での経験と人材開発領域での実績を活かし、多様性を認め主体性を育む関わりや感情コミュニケーションに重点をおきつつ、研修ほか多様な分野で活動。

馬場 望 Nozomi Baba

くく法律事務所所属、弁護士。社会福祉士。家族・子ども・女性に関する諸問題に注力する。東京弁護士会子どもの人権と少年法に関する特別委員会委員、東京都児童相談所非常勤弁護士も務める。ピッコラーレ顧問弁護士。



会場協力/株式会社サンシャインシティ

お問い合わせ/主催
認定NPO法人ピッコラーレ
メール: school@piccolare.org
電話: 050-3134-4479

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	2,000 円	備考	
6404				

領 収 書

2024年2月28日

町田市議会 松葉ひろみ 様

★2,000円

但し、2月15日『自殺対策オンライン研修会』参加費として上記正に領収致しました。

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-8 市ヶ谷 UN ビル 4 階
特定非営利活動法人 自殺対策支援センターライフリンク



ライフリンク主催【全国地方議員オンライン研修会】のご案内

1件のメッセージ

自殺対策を推進する地方議員の会 <info2@lifelink.or.jp>
Bcc: matsubahiromi02@gmail.com

2024年1月16日 17:32

令和6年1月吉日

各位

全国地方議員「自殺対策研修会」オンライン開催のご案内

地域の自殺対策の推進に向けた、皆様の日頃からの取り組みに敬意を表します。

コロナ禍の長期化などにより、自殺者数も年間2万人を超える状況が続き、こども（児童・生徒）の自殺者数は令和4年に過去最多となって、自殺を巡る状況は「非常事態」が続いています。また、こうした状況を鑑み、自殺総合対策大綱が改定されました。地方自治体では、この方針を踏まえるとともに、地域の実情を勘案しながら地域自殺対策計画の見直しを進めるものと考えられます。行政の監視役として地方議員の皆さんの果たす役割がますます重要なものとなっています。

そこでNPO法人自殺対策支援センター ライフリンクでは、地域における自殺対策を今後も適切に監視いただくとともに、牽引役として活躍いただくため、最新の自殺対策に関する情報の共有ならびに交流のための機会を設けたいと考え、別紙のとおり、地方議員の方々を対象とした「自殺対策」オンライン研修会を開催することといたしました。日頃、議会および地域で自殺対策に真摯に取り組まれている議員の方々に、ぜひ当研修会にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

記

日時 令和6年2月15日（木）18:00～20:00（2時間）

講演内容 別紙

※ 申込みフォームにてご質問をお受けします。ただし時間の関係上、いただいたすべてのご質問にお答えできない場合もあります。あらかじめご了承ください。

講師 NPO法人自殺対策支援センター ライフリンク代表 清水康之

開催方法 Zoomのウェビナーを利用したオンライン開催となります。

募集人数 50名（申込み先着順。複数名参加の場合は各々お申込みください）

参加費用 2,000円

申込締切 令和6年1月31日（水）までに参加申込みのお手続きをお願いします。

振込口座 三菱UFJ銀行(0005) 渋谷支店(135) 普通・3561088 トクヒ)ジサツタ
イサクシエンセンターライフリンク

※ 振込の際には、参加される議員の方のお名前と自治体名をご記載いただくよう、お願いいたします。(例: ライフ太郎 千代田区)

当日のURL等 2月以降、参加費のお振込みが確認できた方より順次、事前に登録していただいたメールアドレス宛に、当日参加用のURLを記載した「招待状」をお送りします。

※ 資料は研修会終了後に、同メールアドレス宛に、ファイル添付の形でお送りする予定です。

お申込み 以下の申込みフォームにて必要事項をご記入の上、お申込みください。

申込みURL : <https://forms.gle/Da9Z8HNcpuCiNDos5>



地方議員向け研修「次第」_24.docx

21K